

事業者向け

放課後等デイサービス自己評価表

事業所名：放課後等デイサービスぷろぼのスコラ大和八木

2022年3月1日作成

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか		○		現在は一日当たりの利用者数が2～4名なため問題はないが、増えてくると2部屋に分けるなどの工夫が必要。
	2	職員の配置数は適切であるか	○			
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか			○	ドアが開き戸である。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			日案やモニタリング内容を共有している
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			年に1回アンケートを実施。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			平成29年度より法人ホームページ上で公開。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	第三者評価未実施。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			月1回職員研修、新任向け研修を実施。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			モニタリング時期以外にも必要時に面談や電話での聞き取りを実施している。今年は感染症対応のため面談実施が難しかったため回数は例年より少なくなった。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか			○	法人独自の評価項目を設定しR4年度より導入予定。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			休日イベントの実施、長期休暇には職場体験などの特別プログラムを実施している。学校が休校した際には、開所時間を変更するなどの対応をした。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			プログラムの内容、参加する利用者との相性等も確認の上、打ち合わせをしている。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			

	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			支援記録は作成者以外も閲覧し、漏れがないかを確認している。また、対象の保護者のみが見られる法人独自のHPで支援記録を作成し、保護者に確認してもらっている。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			半年に1回程度モニタリングを実施。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	○			
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○			
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		○		在籍なし。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか			○	実績なしだが、必要に応じて行う。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか			○	今年度は実績なし。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○	中高生が対象のため、交流できる事業がない。
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	○			自立支援協議会へ参加している。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○			年2回保護者会を開催し進路に関する情報提供と意見交換を実施。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			進路についての助言を行っている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○		開催している保護者会は情報提供が目的であるが、保護者同士の連携も取れるような内容にしていきたい。
関係機関や保護者との連携						
保護者への説明責任等						

	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			月に一度、「スコラだより」を発行している。
	35	個人情報に十分注意しているか	○			
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○	地域イベントへの参加実績等はないが、今後実施したい
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			年2回、避難訓練および防災に関する知識を学ぶ機会を設けている。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			重要事項説明書の「安全配慮義務」「緊急時の対応」において、虐待防止・身体拘束に関する法人の取り組みについて保護者に説明するようにしている。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか			○	事例集は作成していないが、都度法人内で共有している